

## オハヨー・オハイオ II / ネクストステージ 文化事業と基礎造りのための新たな機会 “飛躍”

### 狂言と舞踏

宇宙を纏って(まとって):アンティオックカレッジ卒業生による狂言と舞踏の公演

11月11日(土)午後8時

アンティオックカレッジ、ファウンドリー・シアター 920 Corry St, Yellow Springs, OH 45387

ジュリー・イエッツィー博士(ハワイ大学マノア校、演劇・ダンス部教授、アンティオック  
・カレッジ卒業生)



東京芸術大学より音楽学で修士、またアジア演劇で修士と博士号取得。歌舞伎、狂言の翻訳・論文発表・演出を行うとともに、常磐津、長唄、三味線、狂言の公演も続けている。

アベル・コエロー(舞踏パフォーマー、アンティオック・カレッジ卒業生)



世界初で唯一の舞踏専門劇場、「京都舞踏館」の企画創設メンバーの一人である。アベルのコレオグラフィーもいくつもの大陸で鑑賞されている。また京都、アルゼンチン、スペイン、ドイツ、ベルギーに指導者として招聘されている。ハワイ大学でアジア伝統演劇の芸術修士(MFA)を取る間に深く影響を受け、独自のステージ・ムーブメント・ボキャブラリーと抽象表現を創作している。

藤家 溪子(ふじいえ けいこ)



数々の賞を受賞している作曲家であり、作品は日本国内、また海外でも広く演奏されている。東京芸術大学にて学部・大学院とも修めている。NHK 交響楽団により前年の傑出した作品に贈られる名高い尾高賞を、1995年に『思ひだすひとびとのしぐさを』で、2000年にはギター協奏曲第2番『恋すてふ』で、2度受賞している。

## 短編映画”ORIZURU 2015” 上映とシンポジウム、折鶴作り

11月12日(日)午後2時から4時まで  
アンティオック・カレッジ、マグレガーホール 113  
One Morgan Place, Yellow Springs, OH 45387



“Orizuru 2015” は、絵本「サダコと千羽鶴」に触発された現代の友情の物語である。

2015年広島国際映画祭で「ヒロシマ EYE」部門招待作品となった。

2016年5月27日にはロサンゼルス Laemmle Royal で US プレミアとして上映された。奇しくもこの日は、オバマ大統領が広島を訪問した日でした。他にもニューヨークの国連、ハーバード大学など各地で上映されている。

文部科学省より教育ビデオ・映画として推薦されている。

### ゲスト スピーカー

#### 曾原三友紀（映画監督）



ロサンゼルスと日本在住。両国でテレビアナウンサー、ラジオ DJ として13年のキャリアを持つ。様々なイベントの開催、企画、コンサルティングとともに、短編・長編の映画を製作している。サダコの千羽鶴と第二次世界大戦70周年記念についての”ORIZURU 2015”を製作した。

#### クリフトン・トルーマン・ダニエル（トルーマン大統領の孫）



ハリー・S・トルーマン大統領と妻ベスの一番年上の孫である。ミズーリ州インディペンデンスにあるトルーマン図書館・博物館の非営利のパートナーであるトルーマン図書館研究所の名誉理事長。また、ハリー・S・トルーマン奨学金財団の書記長でもある。

*Growing Up With My Grandfather: Memories of Harry S. Truman and Dear Harry, Love Bess: Bess Truman's Letters to Harry Truman, 1919-1943*の著者である。現在、広島と長崎の原爆投下に関する様々なプロジェクトに参加している。

#### 源和子（著者、前ジャパン・ソサエティー教育プログラム副部長）



「世の中への扉 奇跡はつばさに乗って」の著者。本書は少年少女向けで世界の様々な地域に贈られたサダコの折鶴の話題を特集。

またトルーマン大統領の孫との日本訪問、著者が立ち会った日米退役軍人の和解の実話も含んでいる。